

## 安全データシート

作成日:1996年8月1日

改訂日:2020年2月28日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

ナトリウムエトキシド

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

EA0010

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体:区分外

自然発火性固体:区分外

自己発熱性化学品:区分1

水反応可燃性化学品:区分1

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性:区分1B

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

自己発熱;火災のおそれ

水に触れると自然発火するおそれのある可燃性/引火性ガスを発生

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

激しい反応と火災の発生の危険性がある為、水に接触させないこと。

湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。

涼しい場所に置き、日光を避けること。

粉じん又はミストを吸入しないこと。

取り扱い後はよく手と眼を洗うこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと/湿った包帯で覆うこと。

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

火災の場合:消火には乾燥砂/粉末消火剤/泡消火剤を使用すること。

【保管】

乾燥した場所又は密閉容器に保管すること。

施錠して保管すること。

積荷/パレット間に隙間をあけること。

他の物質から離して保管すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性	<p><b>【廃棄】</b>          内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。          多量のエタノールを含有しているので引火しやすく、または空気と混合して爆発性混合ガスとなる。水と接すると分解して可燃性ガスを発生し発熱する。          水と反応し、エタノールと水酸化ナトリウム溶液に分解するので、エタノール及び水酸化ナトリウムに関する健康有害性情報を参照しておく必要がある。</p>
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	ナトリウムエトキシド
別名	ナトリウムエチラート、ソジウムエチラート
化学式	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> ONa
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN : 141-52-6
濃度又は濃度範囲	95%以上
官報公示整理番号（化審法/安衛法）	(2)-204
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚：発赤、痛み、水疱、皮膚熱傷。 眼：発赤、痛み、重度の熱傷。 経口摂取：灼熱感、腹痛、ショックまたは虚脱。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	乾燥砂、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	水、水系消火剤
特有の危険有害性	特有の危険有害性 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 水と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 二次災害の防止策 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
安全取扱い注意事項	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

接触回避 衛生対策	安全取扱い注意事項 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 取扱い後はよく手を洗うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 水、酸化剤との接触を避ける。 作業中は飲食/喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 安全な保管条件	消防法の規制に従う。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。 酸化剤から離して保管する。 涼しく換気のよい場所で保管すること。湿気厳禁。 ポリプロピレン
安全な容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度等（出典） 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 動粘性率（粘度） 溶解度	粉末 白色～淡褐色 無臭 260°C（分解） 該当情報なし。 可燃性 該当情報なし。 30°C 30°C～50°C 260°C 12.8（20°C, 7g/L） 該当情報なし。 水に可溶100mg/L（25°C）。加水分解。 メタノール、エタノール等アルコールに可溶解。ベンゼン、トルエン、キシレン、エーテルに不溶。 logP=-2.69 2.07×10 <sup>-6</sup> mmHg（25°C） 0.868g/cm <sup>3</sup> （20°C） 該当情報なし。 該当情報なし。
n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 蒸発速度	
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性	吸湿性がある。 燃焼すると分解し、有毒なヒュームを生じる。 水と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 極めて燃えやすい。 30-50°Cで自然発火する。火花、高温の表面または裸火により発火。可燃性。 加熱、高温、火気、湿気（水分） 水、酸化剤 エタノール、水酸化ナトリウム
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口：該当情報なし。（分類できない） 経皮：該当情報なし。（分類できない） 吸入：該当情報なし。（分類できない）
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	EUDSD分類でR34（火傷を引き起こす）となっており、 皮膚腐食性：区分1Bに相当する。 皮膚腐食性物質（区分1B）であり区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。（分類できない）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。（分類できない）
生殖細胞変異原性	該当情報なし。（分類できない）
発がん性	該当情報なし。（分類できない）
生殖毒性	該当情報なし。（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回暴露）	該当情報なし。（分類できない）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	該当情報なし。（分類できない）
誤えん有害性	該当情報なし。（分類できない）

## 12. 環境影響情報

生態毒性	短期(急性)：該当情報なし。 長期(慢性)：
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	3206
品名（国連輸送名）	その他のアルカリ金属アルコフレート、自己発熱性且つ腐食性のもの
国連分類	4.2（容器等級Ⅱであり、GHS分類は自己発熱性化学品：区分1及び水反応性化学品：区分1に相当する。
容器等級	Ⅱ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	136

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法（PRTR法）	指定化学物質に該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない
労働安全衛生法	施行規則別表1危険物（引火性のもの）
消防法	指定可燃物（性質：指定可燃物 品名：可燃性固体類）

## 16. その他の情報

引用文献	The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vor. 3 国際化学部室安全性カード（ICSC） 職場の安全サイト（厚生労働省HP） 16615の化学商品（化学工業日報社） 政府向けGHS分類ガイダンス 経済産業省HP
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。